

中小企業あきた

OCTOBER
10
2010



- 1 首都圏攻略プロデュース事業の採択事業所が決定しました! 1
- 2 地区別組合代表者懇談会を開催! 2
～組合の現状、課題等について意見交換～
- 3 本会の支援により2社の地域資源活用事業計画が認定! 4
～菊地合板木工株式会社・株式会社浅利佐助商店～

- 景況レポート8月分 6
- 日本列島組合探検隊 7
- 話題の広場
中央会事業より/新会員紹介/アラカルト 8
- 支援団体活動レポート 9
- インフォメーション/組合ティールーム 10
- 第14回中小企業団体ゴルフ大会を開催! 11

TOPICS 1

首都圏攻略プロデュース事業の採択事業所が決定しました!



8月27日(金)、「首都圏攻略プロデュース事業」の採択事業所を決定する審査会を、ホテルメトロポリタン秋田で開催しました。

本事業は、「秋田県産の米粉用米による米粉」を利活用した新商品の開発及び首都圏での販売を支援する新規事業です。

公募期間中には8事業所から応募があり、審査の結果、北秋田名物株式会社(北秋田市)と有限会社藤倉食品(横手市)の2事業所の採択が決定されました。

審査会は、農林水産省大臣官房食料安全保障課総括課長補佐西経子氏を来賓に迎え、本会塩田会長のほか、あきた食品振興プラザの後藤一会長や秋田県総合食品研究センターの高野靖所長、秋田県産業労働部食品産業課の熊谷讓課長等、全7名の審査員による応募事業所のプレゼンテーション審査と、採択事業所を決定するための審査員協議が行われました。

各応募事業所からは様々な応募試作品が出品され、プレゼンテーション審査では、その試作品を審査員が試食し、応募事業所が5分間のプレゼンテーションを行いました。審査員からは、「米粉の特長を活かした商品であるか」「外観やネーミングに斬新で独創的なアイデアが盛り込まれているか」「商品のコンセプトが明快であるか」「新規性・話題性に富み、首都圏において売れる可能性

の高い商品であるか」などの審査項目に基づき、顧客ターゲットや、想定する販売方法等について、活発な質疑が行われました。



〔仮称〕秋田米菓子 五穀豊稔



〔仮称〕焙煎米粉かすてら

その後、審査員で協議を行った結果、「(仮称)秋田米菓子 五穀豊穰」を出品した北秋田名物株式会社と、「(仮称)焙煎米粉かすてら」を出品した有限会社藤倉食品の採択が決定しました。



採択事業所の新商品については、11月中旬に東京都内と秋田市内でマーケティング調査を実施し、12月上旬～1月下旬に商品改良を行い、最終的には2月中旬に東京都内で販売促進イベントを開催する予定です。

TOPICS 2 地区別組合代表者懇談会を開催!

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

～組合の現状、課題等について意見交換～



本会では、9月1日(水)から10月13日(水)までの予定で、地区別組合代表者懇談会を県内7地区8会場で開催しています。

懇談会では、本会の重点事業や、昨年度の代表者懇談会で出された要望等への対応状況について報告を行っているほか、各地域の地域振興局や市の担当者から中小企業施策等の説明が行われています。また、意見交換では参加した組合代表者等から組合の現状や課題、要望について多くの意見が出されています。

各代表者から出された要望等については、本会が実施する組合への支援事業や国等への要望活動として、今後反映させていくことにしています。

今月号では、9月16日(水)までに4会場で行われた懇談会で出された意見・要望の要旨をご紹介します。

各会場で出された主な意見・要望

【鹿角会場 (9/1)】

- 昨年度、長年のPRが実を結び、官公需を注ぎ込めた。県及び市は、官公需適格組合に対する認知度が低いため、しっかり認知してもらいたい。 <運送>
- 介護報酬の金額は、どのような基準で決められているのだろうか。雇用の拡大にもつながることなので、机上の計算だけではなく、現場の声をよく聞いて決めてもらいたい。また、地域の行政も現場の声を国に届けてもらいたい。 <介護>

- 県・市には、他の商店街との共通イベントの開催に伴う支援をお願いしたい。 <商店街>
- イベントを実施すると交通規制により、売上に結びつかないことがある。売上に結びつく方法を検討していきたい。また、病院移転による影響を組合員にヒアリングするなどして、組合としてできることを支援していきたい。 <商店街>
- カードホルダーが増えているが、休眠会員も増えている。プレミアム商品券の効果は絶大であり、当組合ではその恩恵を受けている。 <ポイントカード>